



■活動日：2024年4月27日（日） 10:00~18:00

■参加者：チーム神於山 正会員 8名

■活動内容

- ・今回は、天気予報が大外れで、ビニールシートの仮設テントを張って4時からの標識調査まで雨を凌ぐ事になりました。また予定では階段や椅子の修理等でしたが、広場の草が随分伸びている為、先ず草刈りを始めたのですが、雨が次第に強くなり広場の3分の2程刈ったところで雨宿りするしかなくなりました。
- ・フクロウは、ヒナが巣箱から顔を出していて巣立ちが近い事を実感できました。ムササビはいませんでした。
- ・タケノコ（1mあまりまで育ったもの）をメンマの材料として収穫・下ごしらえしました。
- ・参加頂いた8名の皆さん。本当にお疲れ様でした。

■次回の活動

- ・次回（5月11日）は、今度こそ小鳥の巣箱作成と架設、栗の木で階段補修、机の脚修理をやりたいと思います。

雨宿り



木から木にロープを張って、ビニールシートを掛けただけの雨対策の仮設テントですが、雨宿りには十分でした。もしサバイバル生活をする事になっても、このメンバーの方々はあまり困らないような気がします。

タケノコの収穫とメンマの下ごしらえ



小雨の中、この大きさのものを4本収穫。不要な、皮をむいて、硬くて使えない節の部分を取り除きます。



包丁がスルリと入る柔らかい部分を輪切りにしてメンマの材料にします。



## フクロウのヒナ



標識調査の朝、フクロウのヒナは巣箱から顔を出していました。間もなく巣立ちをするのにあたり、周囲の状況を確認しているのでしょうか。



標識調査で、巣箱から出されたヒナ。

## ミカンの花



ミカンの木の蕾は、もうすぐ白い花を咲かせそうです。

## 鳥類標識調査の目的と成果のパンフレット



## 活動頂いた8名のメンバーの皆さん



何かと忙しいなか参加頂きありがとうございました。  
活動お疲れさまでした。  
(雨宿りのテントの中なので、光が足りず顔が分かり難くてすみません。)

大阪公立大学の学生さんから標識調査について説明がありました。  
此れ迄、この調査を「DNA調査」と呼んでいましたが、呼称を「標識調査」に改めたいと思います。



以上